

会議名	もと西淡路小学校跡地の活用案にかかる説明会
日 時	令和3年3月17日（水） 午後6時から午後7時10分まで
場 所	東淀川区役所出張所 3階多目的室
出席者 （順不同）	【地域（28名）】 西淡路地域活動協議会会長、もと西淡路小学校跡地検討会議委員、地域に関わる方々 【東淀川区役所（10名）】 宮腰副区長 保健福祉課 子育て・教育グループ（北山課長、宇野課長代理） 地域課 安全安心グループ（奥野課長）、企画調整グループ（松並課長・安達係長） 地域グループ（前田課長・大橋課長代理・三山係長・天野係長）
議事要旨 （概要）	1 開会 2 副区長あいさつ もと西淡路小学校跡地の活用案については、西淡路・淡路地域のご代表の方にご参加いただき、これまで議論を重ねていただいた。 活用案を策定するにあたって、地域のみなさまとも情報共有をし、ご意見を伺いながら進めてまいりたい。 今後も様々な形でご意見等を伺いながら、活用に向けて進めてまいりたいので、みなさまのご理解をよろしくお願いしたい。 3 もと西淡路小学校の跡地活用に係る区の実組み等について もと西淡路小学校跡地に係る用地情報や利用状況、活用案の検討経過と今後の進め方について説明。また、他区における未利用地活用事例を紹介。 4 質疑応答 （地）→地域出席者 （区）→区役所 （地） 2年ほど前の台風が直撃した際、小学校に避難した方が何人かいたが、小学校が停電し、避難所が真っ暗になっていた。今後、避難所を整備する場合、備蓄物資も大切であるが、電気、水道などのライフラインの確保が重要。 （区） 備蓄物資の中に、懐中電灯やソーラーライトも備え付けている。停電時には電気が復旧するまではそれらを使用していただきたい。 （地） ジェーン台風の時に、この地域は床上浸水した。東淀川区は淀川と神崎川に挟まれており、今後も同じような浸水被害があるかもしれない。避難所として使用するのならば1階は使用しない方が良いのではないかと。また、様々な物資も確保してほしい。3千人・4千人ほどの受け入れ人数は必要ではないかと考えている。

(区) 水害の場合は、付近の高いビルに避難していただくことを区として啓発している。

(地) 高いビルに避難するということであるが、どんな建物（分譲マンションや賃貸マンション）でも勝手に入っても良いのか。

(区) 区広報紙やホームページでも公表しているが、水害時避難ビルを指定している。その建物に緊急時に避難をしていただきたい。

(地) ハザードマップも見ているが、実際のところ付近には高いビルがない。それを考えると、もと西淡路小学校の存在は重要。

(区) 地域的に水害時避難ビルが少ない地域があることは認識している。今後も、水害時避難ビルを増やすよう取り組んでいきたい。

(地) 現在、体育施設や学習ルームとして使用しているが、処分の方角が決まった時でも、継続的な使用の見込みはあるか。

(区) 現在は生涯学習ルーム事業、学校施設開放事業でご使用いただいているが、あくまで学校施設の利用を前提とした事業であり、活用方針の中で、学校施設でなくなった時点で、事業としては成り立たなくなると（教育委員会から）聞いている。最終的には、大阪市の戦略会議での判断となる。

今後の活用については、区が進めているまちづくりにふさわしい条件を付けようと考えている。この条件を実際の実現できるかは事業者の判断にはなり、明言はできないが、できるだけ実現可能な条件を検討していきたい。

(地) 資料を見ると防災拠点の機能を確保すると謳われているが、体育施設やこどもの居場所づくりも地域として必要不可欠だと思っている。これらを活用の方針の中に入れることは考えているのか。

(区) 資料の中でも、地域活動等の拠点（コミュニティの拠点）としての存続を求める地域の意見、要望を考慮するとしており、区としてもこの点、地域の意見を聴いて方針を策定していきたい。ただし、最終決定は大阪市の意思決定機関となるため、区の意見が必ず反映されるとは限らない。

(地) 誤解が生じているのではないかという懸念もあるので整理をさせていただきたい。

大阪市としては、もと西淡路小学校跡地をそのまま残すということは考えていないという認識で、売却されるということでもいいか。（そのままの形で活用は考えていないのか）

(区) 大阪市の方針としては、市の財政的なものも考慮し、基本は売却に取り組むこととしている。小学校跡地を現在のままの形で活用することは考えていない。

(地) 大阪市立の建物を何とか誘致できないかという話も何度もしてきたが、現時点では出来ないという答えが返ってきている。それでも、地域みなさんからいただいている、たくさんのご意見から、大阪市立の施設が良い、グラウンドも現状のまま使いたいという意見をたくさんいただいているので、そこは継続してお願いをしているところである。(行政としては)税金は投入せず、市の施設として活用することも考えていない、あくまで民間に売却し、活用してもらうという理解で良いか。

(区) そのご理解で間違いない。

(地) 防災機能は確保したいという区の思いは理解しているが、防災機能というのは、多機能で立派な防災センターができるということではないという認識で良いか。

(区) そのとおり。

(地) マーケットサウンディング(市場調査)は、今後、地元で意見を集約してその素案を作っていくという理解で良いか。

(区) マーケットサウンディングについては、教育委員会や契約管財局とも協議を行い、地域のご意見ご要望をまとめ、区の活用方針をまとめることになるが、そのためにはまず、区のまちづくりの方針案を示さないといけない。この地域は、国も今後の開発を検討している地域であり、その内容も見据えながら、素案の策定に取り組んでいきたいと考えている。

(地) 地元の素案、例えば、グラウンドを残したい、体育施設を残したい、防災機能を充実させてほしい等の要望をまとめた上で市場調査にかけるという理解で良いか。

(区) 素案としてまとめる際には、具体的に何が欲しいというよりも、西部地域バリアフリーまちづくり構想のテーマを活かしたものを、優先順位をつけて取り入れていきたいと考えている。

(地) 急に、東淀川区や大阪市のホームページで、民間企業等に向けて事業者を募っているということは無いという認識で良いか。

(区) 活用の方策をまとめる過程の中で、そのようなことは決して無いと明言できる。

地域の皆さんのご意見をまとめた上で進めていきたいと考えており、その前提となる素案については、できるだけ地域の要望を聞いたうえで策定をしていただきたい。

(地) 決定権は大阪市役所にあり、区役所にはなかなか決定権がないということではあるが、できるだけ地元優先で、区役所には地元側に立ってもらって、地元の思いをしっかりと聞いて、大阪市役所とやりとりを進めてほしい。

(区) 承知した。お礼申し上げる。

(地) 現在、体育館を使用させていただいているが、コロナ禍で一時期、学校に行けなくなったり等で、子どもたちの精神状態も不安定になっている。この場所は地域の重要な活動場所であるので、そういう認識をもって、地域の意見をまとめていただきたい。

(区) 地域の皆さんの意見をできるだけ取り入れた活用案を作っていきたいと考えているので、なにとぞご理解をお願いしたい。

(地) もと西淡路小学校PTAの会長をしていました。小学校統合の際も、区役所から提案があり、3年程議論を重ねた上で統合が決まったが、もと西淡路小学校の校区内では、廃校になってしまうことに非常に抵抗があった。子どもたちのために統合に向けて話し合いを進めた経過もあるので、地元の意向をしっかり受け止めて、今後の活用方針を決めていただきたい。地元の意見が反映されていなければ、強く反対したい。

(区) 説明の中で、決定権は市が持っている等、言い切り口調になってしまった点はお詫び申し上げたい。

今後も、ご意見・ご要望等をお聞かせいただきながら、地域のお気持ちを十分踏まえて進めてまいりたい。

5 閉会